

Microfilm of the specification and Drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 122753/1984 (Laid-open No. 106004/1986)

Page 4, line 11 to page 6, line 7

A concrete embodiment according to the present device will be described with reference to the accompanying drawings. In the present device, as shown in Fig. 1, a shielding material 3 has a slit 1 and plural auxiliary slits 2 formed thereon. The shielding material 3 is formed of a flexible sheet material such as rubber, synthetic resin, or woven fabric. The slit 1 is formed along a direction in which a lever 11 slides, and the lever 11 is inserted into the slit 1. The auxiliary slits 2 are formed in directions intersecting with the slit 1 and have a length shorter than that of the slit 1.

Each of the intervals between the auxiliary slits 2 is preferably equal to the length of the lever 11 as shown in Fig. 2, or less than the length of the lever 11, in particular, less than half the length of the lever 11. The shielding material 3 may have a light blocking effect in order to shield even light from a pilot lamp or the like provided near a variable register. Further, in addition to a case where the shielding material that is provided separately from an escutcheon 12 is attached by a proper means, the shielding material may be formed as a thin layer portion of

the escutcheon 12 that is formed of synthetic resin, to obtain flexibility or bendability due to its thinness.

As described above, in the case where each of the intervals between the auxiliary slits 2 is equal to the length of the lever 11, cover states of the inserted lever 11 are shown in Figs. 2 and 3. When the lever 11 is located at the interval between the auxiliary slits 2, 2, the both sides of the lever 11 can be covered by being sandwiched between split pieces 4, 4 between the auxiliary slits 2, 2 as shown in Fig. 2. When the lever 11 is located at a position intersecting with the auxiliary slit 2, the circumference of the lever 11 can be almost completely covered by split pieces 4-4, 4-4 that are located on both sides of the intersection slit 2, as shown in Fig. 3.

In some cases, the auxiliary slits 2 can be changed in phase on each side of the slit 1 and formed alternatively one another.

公開実用 昭和61-106004

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭61-106004

⑬ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和61年(1986)7月5日

H 01 C 10/38

7303-5E

F 16 J 15/16

Z-7111-3J

G 05 G 1/02

8513-3J

審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 スライドポリウム用防鹿カバー

⑯ 実 願 昭59-122753

⑰ 出 願 昭59(1984)8月10日

⑱ 考 案 者 大 森 章 戸田市上戸田50番地 クラリオン株式会社埼玉工場内

⑲ 出 願 人 クラリオン株式会社 東京都文京区白山5丁目35番2号

⑳ 代 理 人 弁理士 白川 一



明 細 書

1. 考案の名称

スライドポリウム用防塵カバー

2. 実用新案登録請求の範囲

ラバー類や合成樹脂質或いは織布などの1種又はそれらを複合して用いた柔軟性シート材で形成された遮蔽材にスライドポリウム用スライドラバーのスライド方向にそつて形成されたスリットを設け、しかも該スリットと交叉した方向に複数個の補助スリットを配設したことを特徴とするスライドポリウム用防塵カバー。

3. 考案の詳細な説明

「考案の目的」

本考案はスライドポリウム用防塵カバーの考案に係り、スライド作用する操作レバーの周側を有効に遮蔽し、防塵、遮光性に優れ、又体裁のよいカバー機構を得ようとするものである。

産業上の利用分野

スライドポリウム用の防塵カバー。





従来の技術

音響製品において、その音量、音質などをスライド式のバリアブルレジスターで調整することが多く、この場合においてその調整レバーは機器前面のエスカッションから突出して操作されるが、その調整レバー部分を適切に遮蔽することは容易でない。即ち前記したバリアブルレジスターの前面は一般的に板金が用いられているので遮蔽することが好ましいが、このために従来採用されている構造は第4図以下に示す通りであつて、前記したバリアブルレジスター10に設けられたレバー11をスライド操作可能とし、しかもその板金である前面10aを遮蔽するために、エスカッション又は飾り板12に遮蔽材13を取付け、該遮蔽材13に設けられたスリット14から上記レバー11を突出させ、これに操作ノブ15を取付けたものである。

考案が解決しようとする問題点

ところがこのような従来のものにおいて成程遮蔽材13によるカバーがなされるとしてもレ





バー 1 1 の挿通されたスリット 1 4 は第 1 図に示すようにレバー 1 1 の上下に細長い開口部 1 4 a を形成し、外觀上不体裁であると共に遮蔽効果も半減したものとならざるを得ない欠点がある。

「考案の構成」

問題点を解決するための手段

本考案は上記したような従来のももの問題点を解消するように考案されたもので、ラバー類や合成樹脂質或いは織布などの 1 種又はそれらを複合して用いた柔軟性シート材で形成された遮蔽材にスライドポリウム用スライドレバーのスライド方向にそつて形成されたスリットを設け、しかも該スリットと交叉した方向に複数個の補助スリットを配設したことを特徴とするスライドポリウム用防塵カバーである。

作用

スライドレバーのスライド方向にそつて形成されたスリットに対し、該スリットを交叉した方向を採つて複数個の補助スリットを配設する

ことにより前記したスライド方向にそつて形成された主スリットの両側に上記補助スリットで分断された複数の分割突片が形成され、これらの分割突片によつてスライドするレバーの周側を被包する。これらの分割突片は小片としての被包作用をなすことからスライドレバー周側に対して間隙を殆んど残すことのない遮蔽状態を形成し、従つて防塵、遮光を有効に得しめ、体裁のよいカバー機構を得しめる。

実施例

本考案によるものの具体的な実施形態を添附図面に示すものについて説明すると、本考案においては第1図に示すようにラバー類や合成樹脂質或いは織布などの柔軟性シート材で形成された遮蔽材3に前記したレバー11のスライド方向にそつて形成されたスリット1を形成してレバー11を挿嵌すると共に該スリット1と交叉した方向に複数個のスリット1より短小な補助スリット2を配設したものである。

前記した補助スリット2の間隔については、



好ましくは第2図に示すようにレバー11の長さと同じとし、或いはそれ以下、特にレバー11の長さの2分の1以下とする。又前記遮蔽材3はバリアブルレジスター周辺に設けられたパイロットランプなどによる漏光をも防止するために遮光性を有するものとなし、更には遮蔽材をエスカッション12と別体に形成したものを適当な手段で取付ける場合の外、合成樹脂などに形成されたエスカッション12自体に薄層部として一体に形成し、その薄層化によつて柔軟性ないし可曲性を得しめるようにしてよい。

前記したように補助スリット2の間隔がレバー11の長さと同じとされたものの場合において該レバー11の挿嵌時のカバー状態は第2図と第3図に示す通りであつて、レバー11がそれら補助スリット2, 2の間隔に合致した状態においては第2図に示すように補助スリット2, 2間の分割突片4, 4がレバー11を両側から挟んだ状態で被色カバーし、又レバー11が補助スリット2と交叉して位置した状態では第3



図に示すように交叉したスリット 2 の両側に位置した分割突片 4・4, 4・4 によつてレバー 11 の周面を略完全状態にカバーすることができる。

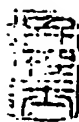
補助スリット 2 は場合によつてはスリット 1 の両側において位相を変え、交互に形成することができる。

「考案の効果」

以上説明したような本考案によるときはスライド操作されるレバーの周側を常に完全状態にカバーすることができることは明かであり、それによつて防塵効果、遮光性を充分に向上し、体裁良好で装飾性の優れたスライドボリウム部分の遮蔽を得しめるものであり、しかも単に補助スリットを形成する程度であつてコスト的ないし加工的に殊更に不利とならないなどの効果を有し、実用上製作上その効果の大きい考案である。

4. 図面の簡単な説明

図面は本考案の技術的内容を示すものであつ



て、第1図は本考案による防塵カバーの平面図、第2図と第3図はそのレバー挿嵌状態についての説明図、第4図は従来のもものの平面図、第5図はその断面図である。

然してこれらの図面において、1はスリット、2は補助スリット、3は遮蔽材、4は分割突片、11はレバー、12はエスカッションを示すものである。

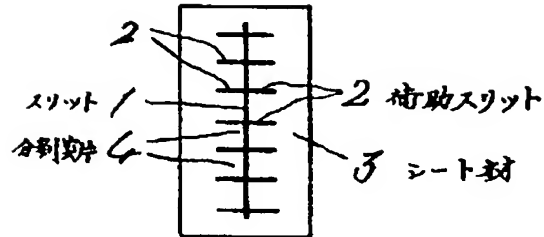
実用新案登録出願人 クラリオン株式会社

考 案 者 大 森 章

代理人 弁理士 白 川 一

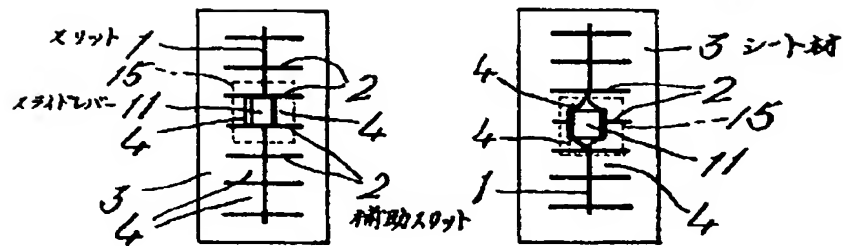


第 1 圖



第 2 圖

第 3 圖



第 4 圖

第 5 圖

